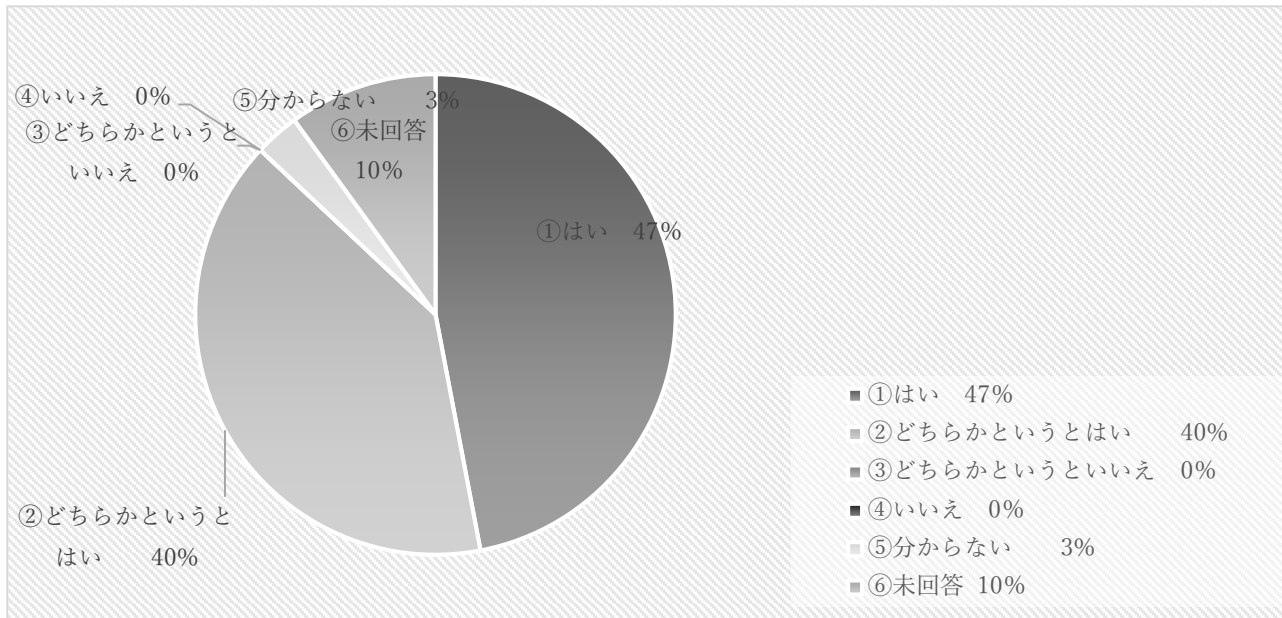


令和4年度幼保交流研修会 (7月28日 小学校との接続・連携) 感想アンケート

1 就学前教育・保育施設(こども園・幼稚園)と小学校との接続(スタートカリキュラム・アプ ローチカリキュラム)について、理解が深まりましたか？



【園関係者】

◎管理職

○保育教諭

- ◎共通理解が必要だと思いました。園のことをもっと知ってもらいたいし、また小学校のことも知っていき
たいと思いました。
- ◎園での子どもの姿を小学校へ伝えていくことの大切さを感じました。子どもの良い所、興味関心について
伝えていけたらと思いました。
- 小学校との接続には不安を抱くことはあったが、小学校の先生と話す中で環境や場の変化で新しい生活を
スムーズに始める事ができるように、今回のような研修の場があると情報の伝達や現状も伝えていける
ので良いと思った。

【小学校関係者】

◎管理職

○教諭

- ◎改めて小学校と就学前教育の連携も大切なことを学びました。就学前に学んできたことを小学校で活かし
きれいないないのが、申し訳ないです。お互いが知り合い、連携できるようなシステム、カリキュラムを構
築し有効に活用していかないといけないと思いました。
- この接続があるからこそ、子ども達が戸惑いなく新しい環境でも楽しく学び、過ごせるんだなと思いま
した。園でしていることは、小学校でする事にも繋がるのが今日の公開保育や園の先生方の“生の声”を
聞き良く分かりました。
- 園の子ども達の様子を見て「思っているよりもできるな」という面と「小学校でももう少し丁寧にした方が
いいな」という面がありました。今後子ども達の様子も成長し変わってくると思うので、園小連携しなが
ら情報交換をしていくことが大切だと感じました。

2 鈴木先生の講義を受けて気付いたこと、学んだこと、今後に生かしていきたいこと等を記入してください。

【園関係者】

◎管理職

○保育教諭

- ◎幼児教育の遊びの中には様々な学びがある。小学校の教科に繋がっていくこともあれば、友達との大切なコミュニケーションの場でもある。子ども達の興味、好奇心をどんどん育み、協働したり友達の思いを聞いて考えたりできる遊び、活動、環境の工夫をしていきたい。
- ◎これからの日本型学校教育を学んで、一人一人の興味、関心をもったことを「個に応じた指導」（「孤立した学び」にならないように）一人一人の良い点や可能性を生かすことで異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出すという事を着目しながら保育していきたい。
- ◎幼稚園の保育活動や遊びを通して、具体的な例をあげながら話していただき、とても分かりやすく勉強になりました。写真を見ながらの振り返りは、写真を指で差して話すと言葉が出てくる…園でも共有し、試していきたいと思います。
- 主体性を発揮させたい時は、横のグループ、情報を共有したい時は縦のグループで分けたら良いと分かったので、これからは保育に活かしたいです。必要な物を自分が伝える力も大切だと分かりました。

【小学校関係者】

◎管理職

○教諭

- ◎子ども達を見つめる温かい眼差しを感じました。私達もそのような視点で子どもを見ていきたいと思いました。また、「待つ」という事の大切さを改めて感じました。小学校ではなかなか「待てない」状況があり、そのことが子ども達からゆとりや自立を奪ってしまっているような気がしました。小学校でも「教える」ではなく「学ぶ」活動を多くしないといけないと思いました。
- ◎幼児教育の過程で積み重ねた経験を育むカリキュラムを策定する必要性を強く感じた。コロナ禍ではあるが、園小の連携を進めたい。
- 鈴木先生より失敗体験がその後の園児たちの「もう一度やりたい」という意欲につながるという助言がよく分かりました。
- 幼稚園と小学校とのねらいや目標の違いはあるかもしれませんが、大切なのは経験の中から“できる”という意欲に繋げる事、なのかなと思いました。失敗や成功体験から得たものは素敵なものです。小学校では積み重ねてくださった“できる”という思いを崩さないような1年生のスタート（小学校のスタート）をサポートしていかないといけないなと感じました。学校生活を楽しめるような気持ちで関わっていきたい…と思いました。